

令和5年度 西砂学習館運営協議会（令和5年6月）会議録（案）

日 時：令和5年6月16日（金）午後6時00分～午後8時35分 （敬称略）

出 席：大橋 加藤 内金崎 小笠原 長谷川 岩元 能村 小林 森 広瀬

欠 席：増田 杉之原

傍 聴：無し

事務局：高野 田中 俣本

1 開会のあいさつ

大橋：学習館まつりが無事に終わった。お疲れ様でした。中規模改修工事について前回の会議より具体的になってきているかと思う。情報を共有し地運協でどう活動できるのか考えていきたい。

2 中規模改修工事について

- ・工事に向けての説明会 6月25日（日）午後2時 第1教室
- ・周辺へのお知らせ、施設利用者への周知について

高野：今回は駆体を中心とした補修工事。2階の子育てひろば、第2実習室から順番に進める。図書館はかなりの日が休館になる。工事業者は西砂建設で6月19日から具体的な打ち合わせをする。工事期間中は駐車場が1/3に縮小。車が足として当たり前の地域なので駐車場の確保について、最大の課題と業者と施設課に伝えている。騒音と振動については、進捗管理でレベルを明示するような方法をとりたいと提案をしている。工期中の講座の実施は厳しいと思うが、煩くてもやりたいという考えもある。音や振動ありきで考えて頂きたい。6月25日午後2時から地域の方を対象に改修工事の説明会を行う。同時期に瀧ノ上会館も改修工事がある。更に砂川学習館が立替で、6月21日に砂川学習館職員が西砂学習館へ引っ越してくる。工事のピークは9月。

岩元：9月の部屋予約は殆どできなかった。10月はどうなるのか。

高野：10月は2階の一部は予約可能。9月は工事ではほぼ全室閉鎖に近い状態となる。

能村：工事は平日だけか。

高野：基本的には平日の昼間に工事をし、夜間と土日の工事はしない。但し錦学習館では緊急で土曜日に作業をした時もあった。電気関係は年末年始に行う予定。

加藤：業者との詳細な調整はいつからか。大きな方向性はわかるか。

高野：6月19日。毎週1回進捗管理会議を行う。若干の概要はでる。

加藤：7月からクラシック音楽入門講座がある。講師が音を気にされている。

高野：振動を伴う工事の時の座学は厳しいと思う。資材搬入の日だと音や振動が小さい。

大橋：実際にサマーイベントは実施できるか。

高野：音と振動はあるが実施できるように調整している。

大橋：6月25日の説明会の内容は次回の地運協で聞くことは可能か。

高野：可能。

広瀬：夜間はどうか。

高野：夜間は音と振動は無いが仮囲い、資材置きで部屋の一部閉鎖はある。

3 令和5年度地域活性化講座について

(1)「西砂サマーイベント～」について

- ・開催日程等の検討

工事の関係で7月25日(火)、7月26日(水)、7月28日(金)の開催について

【講座】 内容未定 予算 83,000円

【午後の講座やイベント】

○工事の騒音に影響されないイベント/工作、ゲーム大会 ほか

大橋：騒音や振動を考慮し内容を検討する。

高野：6月19日の決定が無い限り動けないがある程度ひな型を作ることは可能。工作では、大根田さんに依頼できる。ゲーム大会はやり方がある。料理講座はそれを通じて、午前午後やりくり可能。例年学習コーナーを各学習館で実施。今年度は砂川学習館と西砂学習館は表に出していないが、子どもの部屋の確保はしようと思っている。7月20日前後は1つの工事の終着点になる予定。片付けで騒音がでる可能性がある。考慮し検討して頂きたい。

大橋：騒音振動が予測。机上での学習より、工作や体を動かすような音を気にしないで実施できる内容かどうかのこと。子どもの参加について、一昨年前は午前昼食午後と通して参加できた。去年は午前昼食、昼食午後と分けて多くの子ども達が参加できるようにした。

長谷川：工事で沢山の人や資材の出入りがあるので、一定の人数での実施が見守る側は安心。安全確保を考えると、大人数は無理なのではと思う。

大橋：子どもが来る時と帰る時に配慮が必要になる。入替無しで講座を企画するのはどうか。

広瀬：今年は特別なのでできるだけ安全で負担が無いように入替無しで行いたい。

大橋：料理を作る講座は騒音があっても問題ないと思う。こいけ先生やパンサークルがある。

田中：定員、料理の適正人数はどうするか。前は参加できなかった方から苦情が多く来た。

岩元：安全を考えて対象を小学3年生以上に限定するのはどうか。

長谷川：今年は特別な年なので制限しても苦情は来ないと思う。

大橋：申し込みでどう明記するか。

岩元：工事中の為とする。

大橋：本当は多くの子どもを受け入れたいが、危険を予測し今年度は対象を3年生以上、定員を20名とする。一日通して開催する。申し込みは1日のみとする。

能村：申し込みは抽選方式でと話があった。

大橋：内容はどうか。

内金崎：屋内スポーツボッチャはどうか。

大橋：前に車いすユーザーの方に指導して頂いた。

高野：立川市民科でもお願いしたことがある。

岩元：昔遊びはどうか。

内金崎：皿回しをできる方がいる。

小笠原：地域のスキルを持っている方と繋がれないか。

大橋：学習館利用団体で南京玉すだれの会がある。

田中：保育士対象にしたお手玉の研修をする。お手玉も良い。

小笠原：児童館で裁縫の要望がある。今回対象が3年生以上なのでできるのでは。

田中：体験としてお手玉づくりの裁縫もできると良い。

大橋：PRは松中小と西砂小へのチラシ配布。次回の地運協を早めに開催し内容を決める。

参加する子どもが違うので、3日間同じ内容でも問題無い。

広瀬：小笠原委員と一緒に歌う講座も良い。

小笠原：工事の騒音を考えると難しい。

大橋：今回は騒音や振動に負けない講座を企画する。

(2) その他

- ・「にしすな親子塾」について

○開催日程：6月25日(日)午後2時～ 西砂児童館 【集合13:30】

10組予定、材料費100円予定 講師：大根田和美さん(生涯学習市民リーダー)

高野：申し込みは2組。問い合わせが少し来ている。20人までは材料は用意するので当日保護者の参加も可能とする。

岩元：学年の制限はあったか。

高野：小中学生対象。

田中：作業の早い子どもは早く仕上がるので、木工に色塗りする作業時間も用意している。

4 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認(議事録)

大橋：何かあれば事務局まで。

(2) 地域学校コーディネーターとの連携について

- ・地域学校コーディネーターとの情報交換会について

- ・日程の調整7月25日(火)、7月26日(水)、7月27日(木)、7月31日(月)夜間開催

大橋：8月も含めて日程調整する。

(3) 「西砂学習館まつり」の報告について

- ・まつりふりかえりについて

*6/21(水)午後1時30分から

*展示、舞台発表会、催し物等について

高野：6月21日まつりの振り返りを行う。第一印象は準備が非常に大変と思った。

広瀬：来年のプレまつりは実行委員会にも関わってもらうのはどうか。

田中：プレまつりは今回2回目の開催。発表会の日程も検討する。

(4) 各委員から報告及び連絡事項(報告)

加藤：改修工事の影響が非常にある。クラシック音楽入門講座の日程変更もゼロではない。

親子塾には行く予定にしていたが、説明会に出席し状況を把握したいと思っている。

広瀬：西砂学習館の2つのサークルに所属している。できるだけ工事期間は協力し西砂学習館以外の会場で開催するようにし、8月はお休みにする。学習館まつりでは体験教室に参加。

内金崎：6月25日定時制・通信制高校等合同学校相談会を予定。進路に悩む小中学生、進

路変更を検討している高校生、高校について知りたい保護者や教員対象。

ニコニコサロンの不登校の子どもを対象にした「裏スペース」では子どもが来ないのが課題。8月頃には講演会を予定している。講師はNPO法人ゆとりある。

小笠原：児童館では6月は子ども達が慣れてきた安心感と疲れが出てくる時期で不安定になる月。児童館としては良い傾向と捉えている。学校と1年生を中心に担任先生と面談をし、情報共有を行った。学校、ご家庭、学童と違う顔を子ども達は持っている。これから1日保育の夏休み期間が始まる。そこに向けて調整をしている。夏の夕涼み会は保護者会と共催で7月15日土曜日に行い、地域や青少健の協力を頂く。松明祭り、水遊び等普段と違うイベントを行う時期に入る。気になるのは、子ども達や職員が体調を崩していること。

長谷川：青少健では6月20日第1回地区委員会を予定。7月12日第1回松明祭り実行委員会、8月9日第2回松明祭り実行委員会を予定。夏休みパトロールは7月22、7月23日に予定。

岩元：6月28日社会を明るくする運動では市役所で推進大会がある。NPO立川ニューカレドニア交流支援ネットワークの活動で、ニューカレドニアから18人の中学生が立川に来る。中学生のいる立川市内の家庭なら受け入れ可能。学習館まつりにコーラス槐で参加。体験教室には5名が参加。明日は天王橋会館の祭りがある。

小林：西砂書道愛好会は9月からは西砂会館で行う。綺麗になった学習館を想像しお稽古を休まないようにしたい。

能村：講座ガイドきらり・たちかわ夏号発行。表紙は機織り。今回の特集記事は歴史民俗資料館と事務局にお願いした。学習館探訪「幸学習館」は自分が記事を書いた。次回が最終回で錦学習館。きらり・立川秋号の特集は、関東大震災100年。立川防災館へ取材に行く。

俣本：7月の寿教室、7月14日の懐かしい歌をご一緒には講師に確認し、改修工事中でも西砂学習館で実施することに決まった。

田中：10年前西砂学習館勤務になった時に、壁にポスター掲示用に木の板を貼った。今回改修工事の関係で全部外すことになった。

高野：充実した西砂学習館まつりだった。改修工事は安心安全に工事を進めたい。

(5) 地域学習館運営協議会代表者連絡会

令和5年7月21日(金)午後6時30分から 市役所208・209会議室

○西砂周辺の地域課題について(各学習館での課題を持ち寄り、7月の交流会で報告)

高野：6館の代表者で意見交換を行う。課題として不登校の関心が高いとあれば提案として頂ければと思う。7月第1週にその打ち合わせがあるのでその前にお聞きしたい。

岩元：この地域課題は交通不便について。高齢者から交通手段がないので免許返納ができないと声を聞く。くるりんバスのルートや頻度等効果的な交通網の施策を立川市は行って欲しい。

大橋：立川駅を中央とした時、学習館で学べる講座に格差があってはいけないと思っている。どの地域でも同じような講座が開かれ地域の方が恩恵を受けることが大事。

岩元：講座はオンラインでできる時代になっている。

大橋：体験型の講座は同じ内容で各地区巡回すれば良いと思っている。

加藤：西砂地区の方による中央への参加率は低い。推進委員会はパソコン講座、クッキング講座を各地域で開催しようと数年前から行っている。代表者会議で更に提案しても良いと思う。

大橋：地運協が地域の課題解決として講座を企画するのが地運協と思っている。費用の面の手当てが必要。

高野：体験型講座は地域格差があるのは良くない。解消できればと思う。

大橋：大学との連携について。学生に交通費の支給ができれば地域に若者の考えが入り、一緒に考えていけると更に意味がある活動になると思う。

(6) その他

内金崎：夜間の子どもの居場所について試験的にでも良いので何かできないか小笠原委員とお話をしている。会場は、西砂児童館を貸し館的に借りて考えている。最初は地運協と一緒にやらせて頂き仲間を募りながら、進めていきたいと思っている。協力を頂ければと思う。

小笠原：貸館制度を利用すれば、西砂児童館で実施できると画策している。

大橋：食事の問題は対応可能か。

小笠原：食事は夜間塾を想定している。対象は子ども達に絞らず子どもも大人もいて交流したい。

大橋：どこかが音頭をとらなければならない。地運協では子どもの居場所づくりの話をしてきている。小笠原委員から以前から午後6時以降の子どもの居場所の話はあった。支えるスタッフを手厚くする方法を考えていけると良い。スタッフを広く集めることも必要。大きな組織である青少健には情報共有し多くの方が支援してくれる広がりを作るのが必要と思う。

小笠原：深刻な状態の子ども達がいる。情報力、行動力もある地運協の力をお借りすることができないかと思いお話しさせて頂いた。地運協の範疇なのか悩んでいるところではある。対象の子どもの数は少ないが毎年その子ども達はいる。

内金崎：ニッチなニーズではあるかもしれないが裏には同じような課題を抱えている人がいるかもしれない。なので、試験的にやる意味もあるかと思う。

大橋：次回に持ち越し方向性を考えたい。方法論も考えないといけない。

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、7月5日水曜日

<配布資料>

- ・〈資料1〉西砂学習館まつり中間報告
- ・〈資料2〉中規模改修工事説明会のお知らせ